



教育分野における女性の理工系人材の育成及び アンコンシャス・バイアス解消 に向けた取組について

文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課

算数・数学、理科に見られる興味・関心の男女差

- 男女別に平均正答率・スコアを比較すると、国語、理科は小・中学校とも女子が男子を上回った。算数・数学は小・中学校とも男子が女子を上回った。ただし、算数・数学、理科の平均正答率・スコアについては、大きな男女差は見られない。
- 算数・数学、理科については、平均正答率・スコアの男女差が見られないにも関わらず、「好き」「得意」と回答する割合は、女子が男子を下回った。

平均正答率・スコア（男女別）

	小・国語	中・国語	小・算数	中・数学	小・理科	中・理科
男子 (a)	63.1%	52.0%	59.0%	49.1%	55.8%	503
女子 (b)	70.9%	57.4%	57.3%	48.6%	58.8%	508
女子 (b) – 男子 (a)	7.8	5.4	-1.7	-0.4*	3.0	5

(出典) 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）p. 64-65

各教科の興味・関心、理解度（男女別）

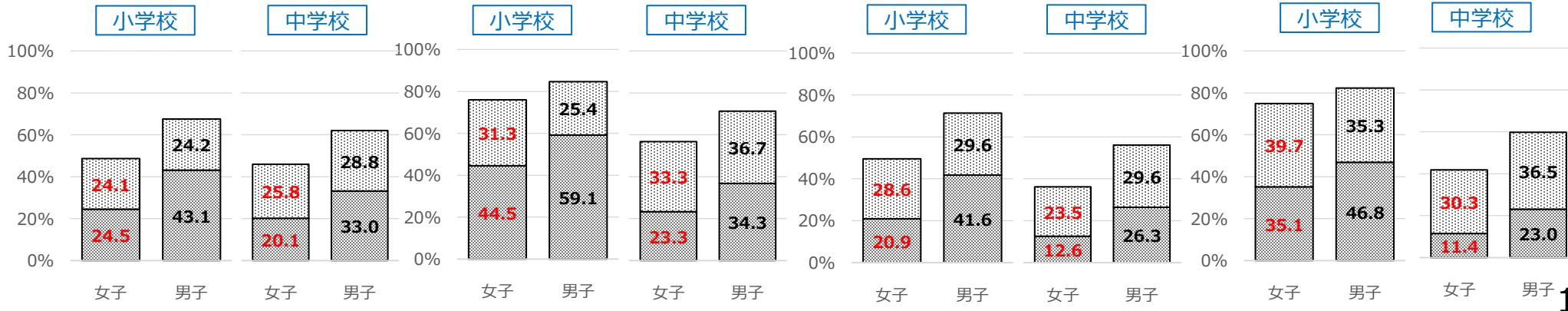
児童(53)
生徒(53) 算数(数学)の勉強は好きだ。

児童(61)
生徒(61) 理科の勉強は好きだ。

児童(52)
生徒(52) 算数(数学)の勉強は得意だ。

児童(60)
生徒(60) 理科の勉強は得意だ。

*差を算出した後に、小数第2位を四捨五入



義務教育終了段階の数学的・科学的リテラシー

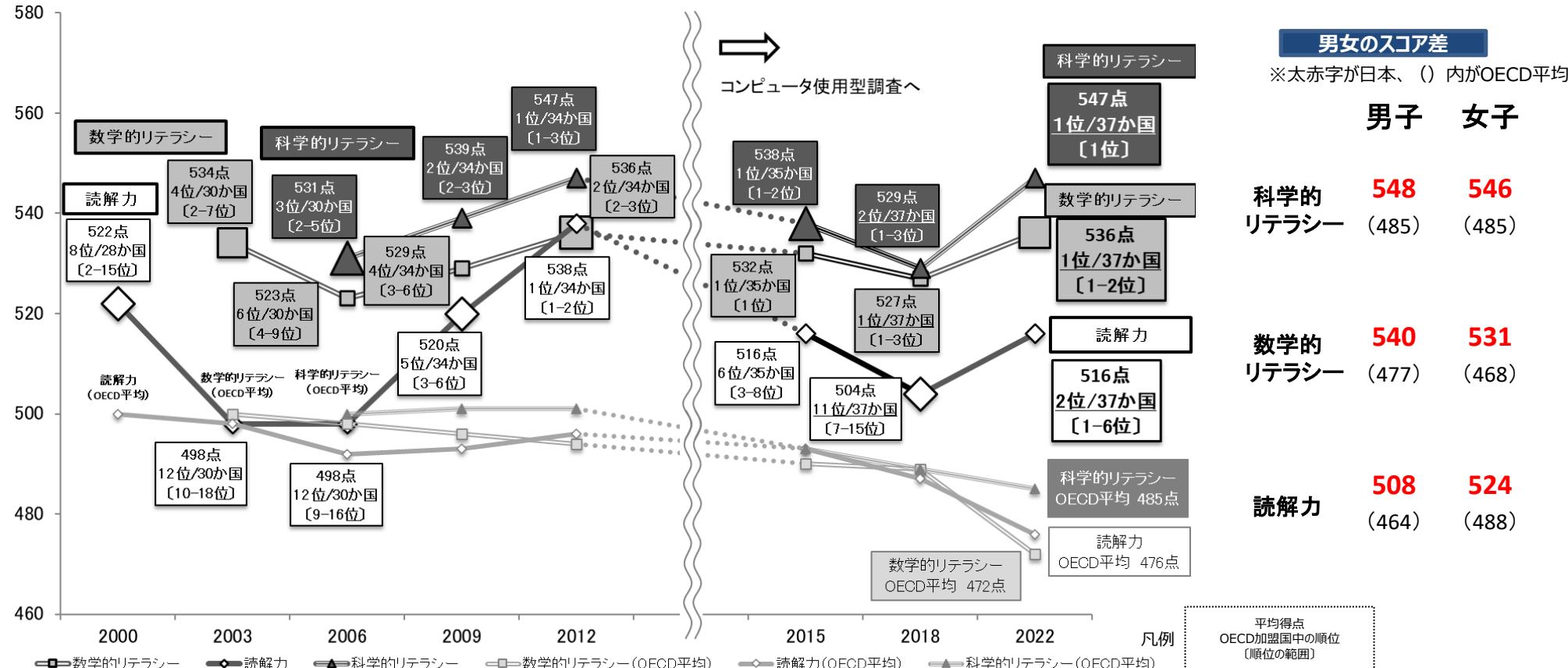
義務教育終了段階の国際学力調査（OECDのPISA調査）において、日本は、

- 「数学的リテラシー」「科学的リテラシー」については、男女ともに安定的に世界トップレベルを維持。

また、女子の平均スコア、習熟度が高い生徒の割合は、OECD平均より高い。

- 「読解力」については、女子の平均スコアが男子よりも高い。

【出典】OECD生徒の学習到達度調査（PISA）
2022年調査国際結果報告書



男女別に見た習熟度レベル（レベル1以下・レベル5以上）別の割合（2022年）

数学的
リテラシー

		レベル1以下	レベル5以上
日本	男子	13.1%	26.6%
	女子	10.9%	19.4%
OECD平均	男子	30.7%	10.5%
	女子	31.6%	6.8%

科学的
リテラシー

		レベル1以下	レベル5以上
日本	男子	9.2%	20.0%
	女子	6.8%	16.0%
OECD平均	男子	25.5%	8.3%
	女子	23.4%	6.6%

読解力

		レベル1以下	レベル5以上
日本	男子	16.9%	11.7%
	女子	10.6%	13.0%
OECD平均	男子	30.7%	6.2%
	女子	21.7%	8.3%

科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状

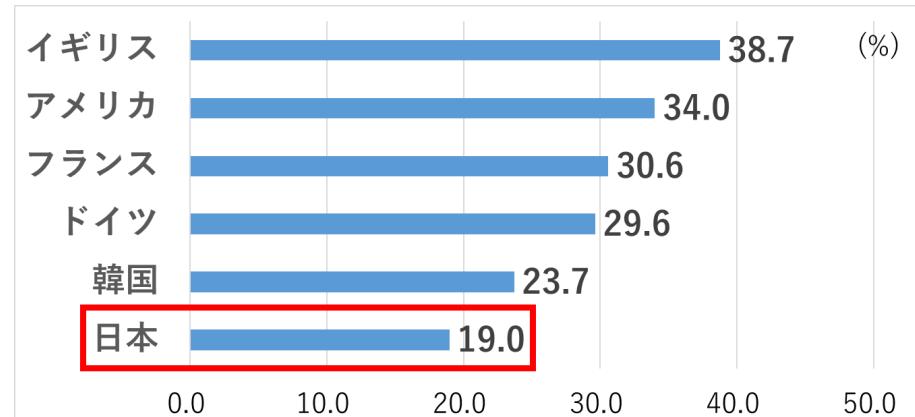
OECDによる学習到達度調査(15歳時点) ※再掲

	日本			OECD平均		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
科学的リテラシー平均得点	547点 1位	548点 1位	546点 1位	485点	485点	485点
数学的リテラシー平均得点	536点 1位	540点 1位	531点 1位	472点	477点	468点

※OECD PISA (Programme for International Student Assessment) 2022 より作成
 ※順位はOECD加盟38か国中。

※調査段階で15歳3か月以上16歳2か月以下の学校に通う生徒が対象（日本では高校1年生）。

諸外国の研究者に占める女性割合

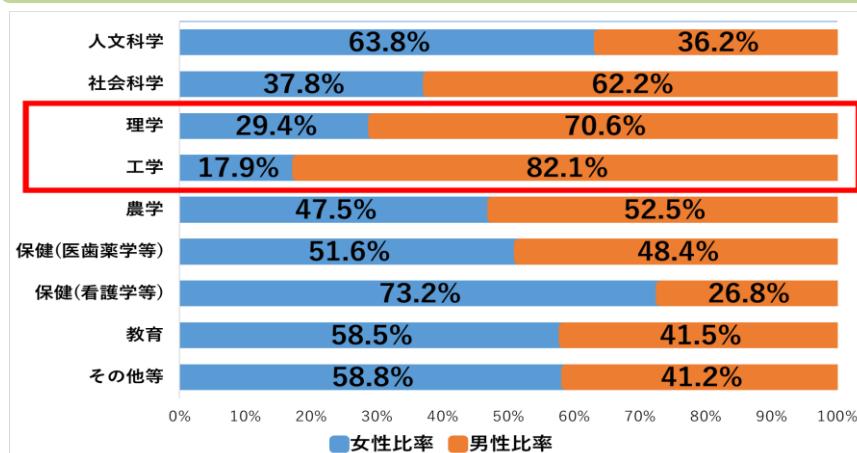


(出典) 総務省「科学技術研究調査」(令和7年)

OECD "Main Science and Technology Indicators"

米国国立科学財団 (National Science Foundation : NSF) "Science and Engineering Indicators"

大学（学部）の学生に占める女性の割合



(出典) 文部科学省「令和7年度学校基本調査」

※その他等は「商船」、「家政」、「芸術」及び「その他」の合計。

女性ノーベル賞受賞者数（自然科学分野）

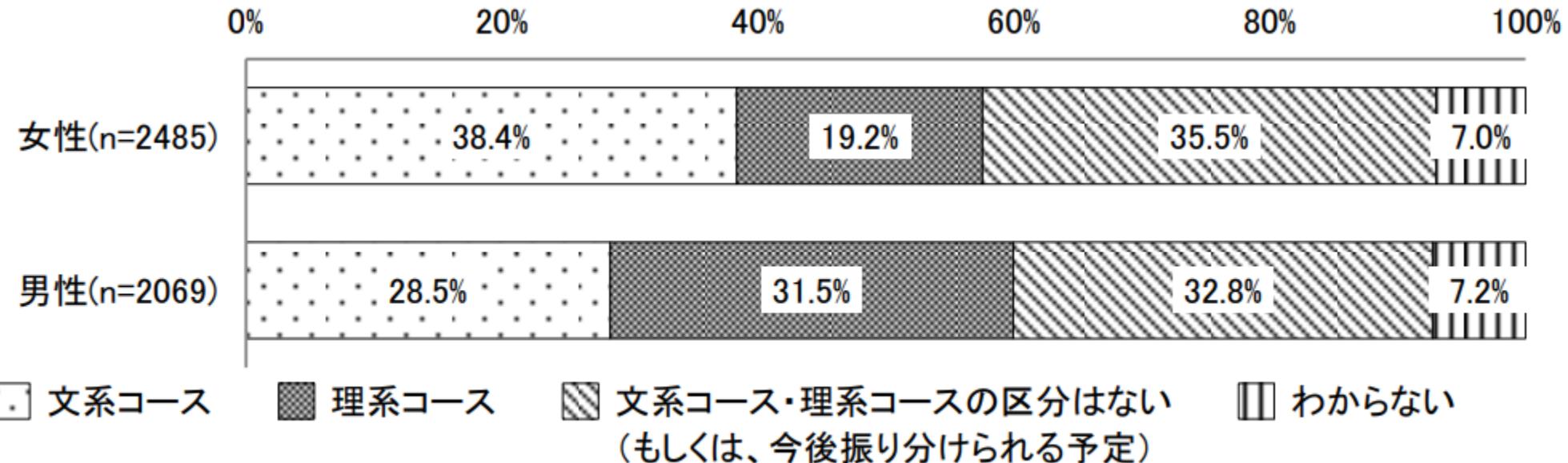
	生理学・医学	物理学	化学	計
アメリカ	7	2	3	12
欧州	5	2	4	11
日本	0	0	0	0
その他	2	1	1	4
全体	14	5	8	27

※2025年までの受賞者を集計。

※その他の国は、イスラエル、オーストラリア、中国、カナダ。

高校生が所属するコース（文系・理系等）の割合

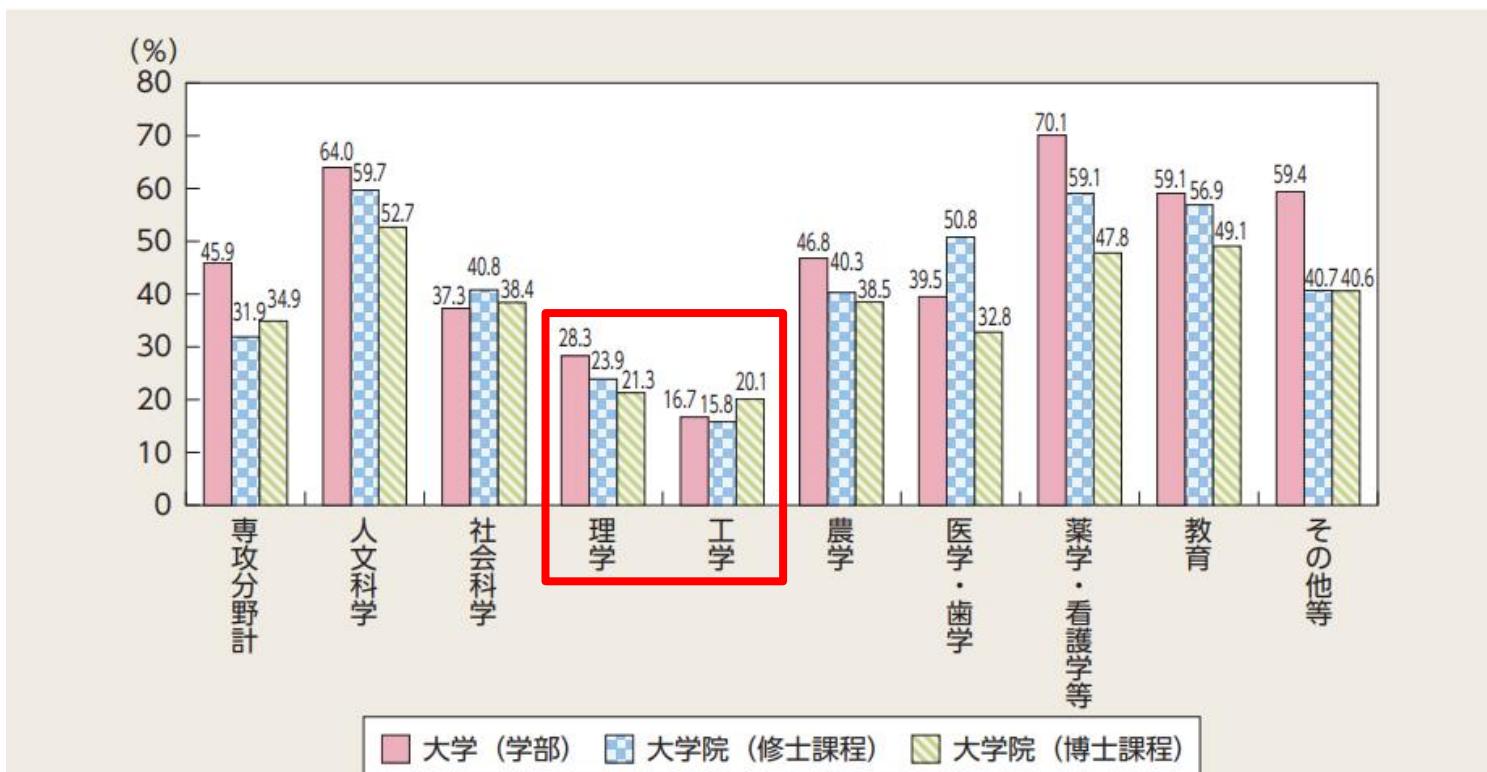
- 高校1年生～3年生への進路選択アンケート調査では、女性は「文系コース」、男性は「理系コース」に所属する割合がそれぞれ高い傾向がみられる。



出典 令和3年度内閣府委託調査「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究 調査報告書」(令和4年3月)

大学（学部）及び大学院（修士課程、博士課程）学生に占める女子学生の割合

- 工学と理学の分野では女子学生の割合が低い。

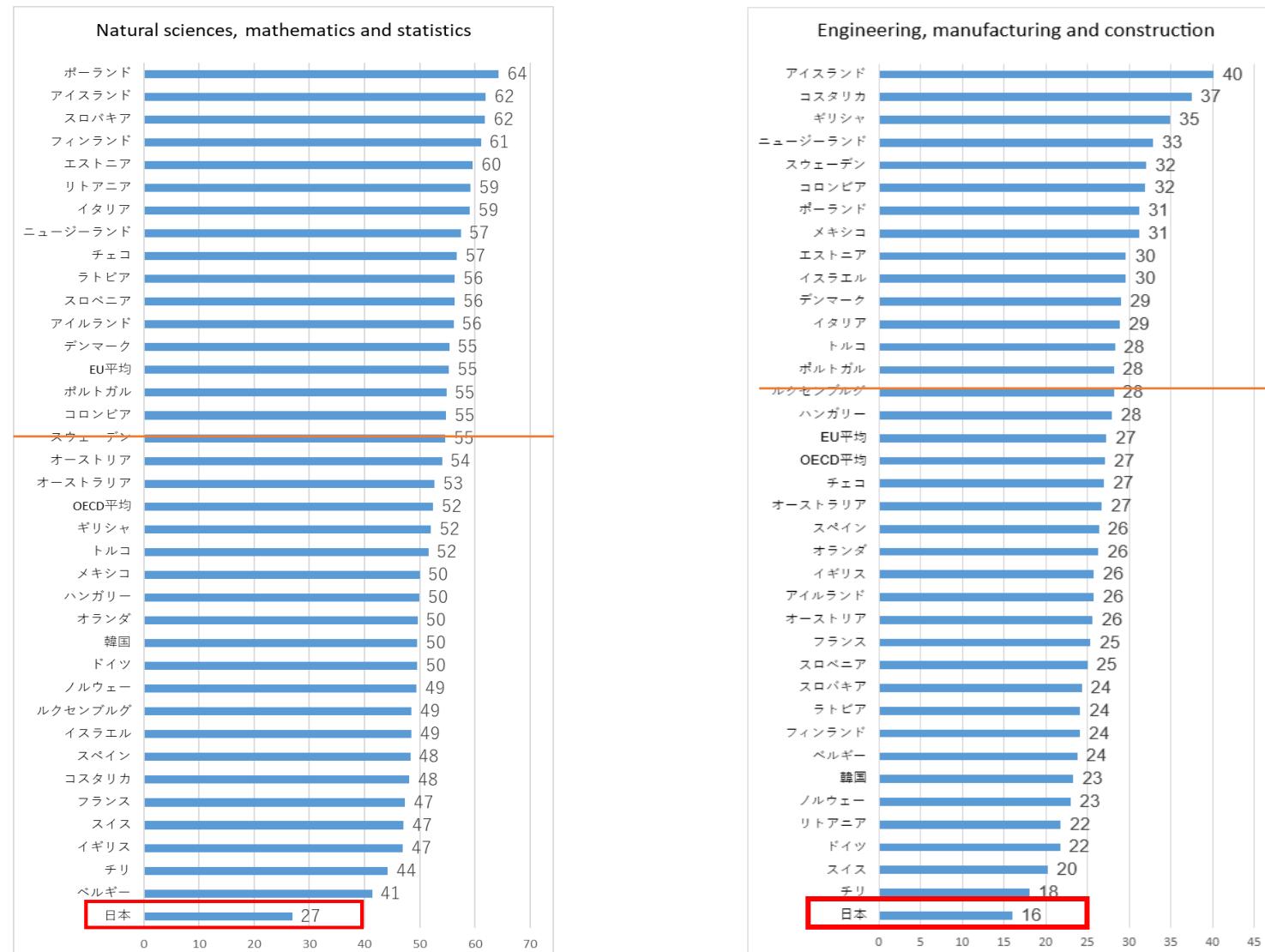


- (備考) 1. 文部科学省「学校基本統計」(令和6(2024)年度)より作成。
2. その他等は、大学（学部）及び大学院（修士課程）は、「商船」、「家政」、「芸術」及び「その他」の合計。大学院（博士課程）は、商船の学生がないため、「家政」、「芸術」及び「その他」の合計。
3. 大学（学部）の「薬学・看護学等」の数値は、「薬学」、「看護学」及び「その他」の合計。大学院（修士課程、博士課程）の「薬学・看護学等」の数値は、「薬学」及び「その他」の合計。

出典： 内閣府『男女共同参画白書 令和7年版』

OECD諸国における分野別大学等入学者女性割合（2022年）

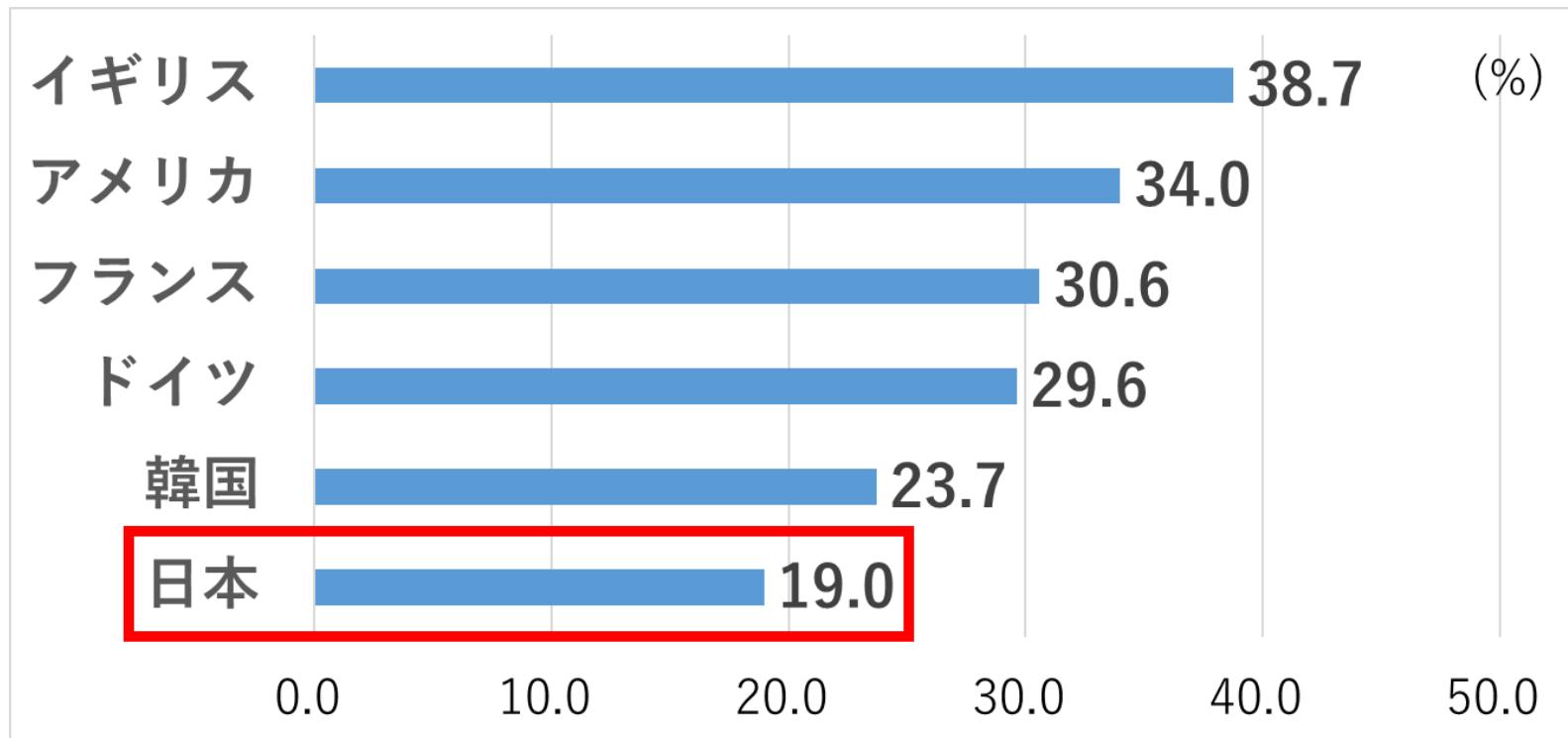
- PISA調査結果における「数学的リテラシー」「科学的リテラシー」は、男女ともに安定的に世界トップレベルであるにもかかわらず、理工系分野への大学等入学者のうち女性の割合は、OECD内で著しく低い。



※OECD.statより作成 2022年データ (2024.11.12更新)

研究者に占める女性の割合

- 日本の研究者に占める女性割合は19%で、OECD諸国の中で群を抜いて低い。



(出典) 総務省「科学技術研究調査」(令和7年)

OECD "Main Science and Technology Indicators"

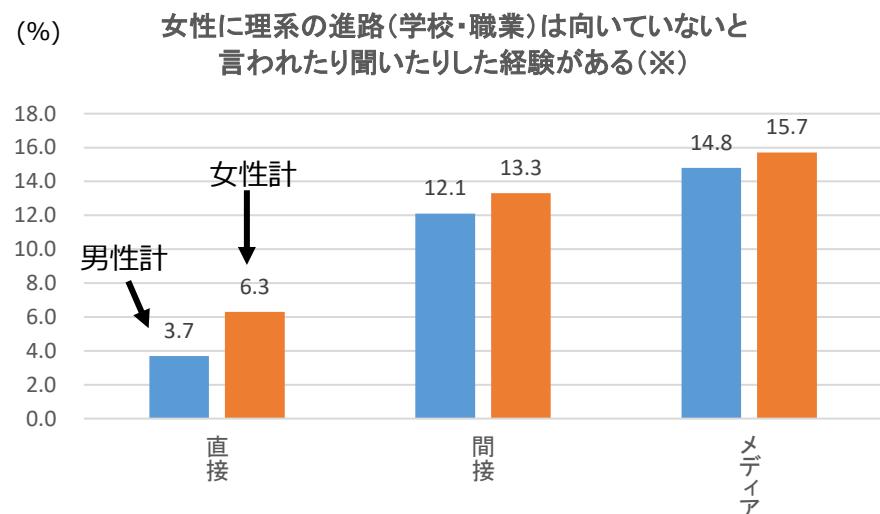
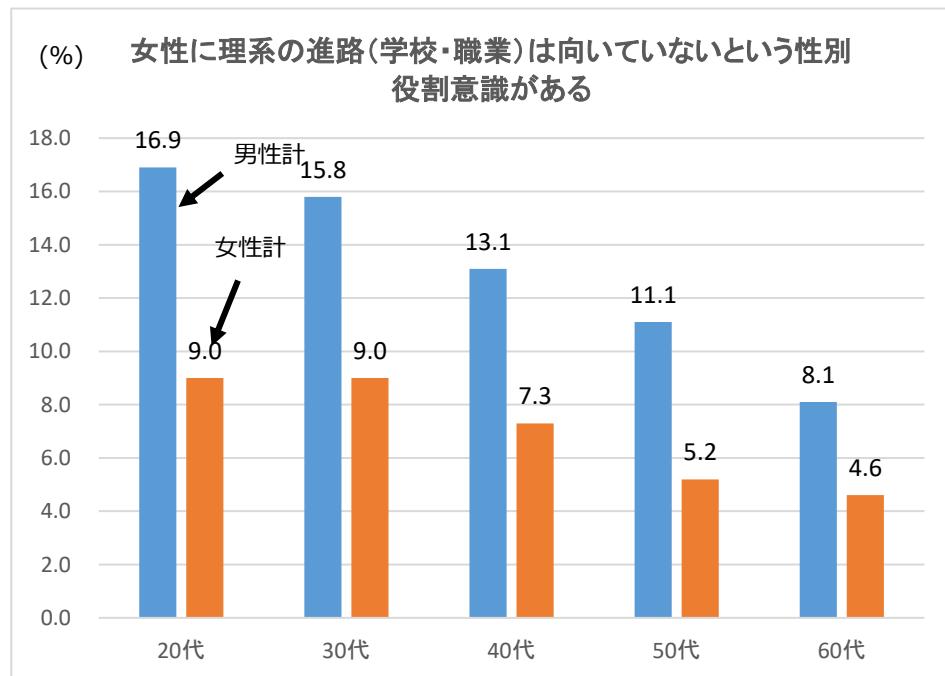
米国国立科学財団 (National Science Foundation : NSF) "Science and Engineering Indicators"

理系の進路選択に関するアンコンシャス・バイアスについて

～「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」より～

【調査結果】

- ・「女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない」という測定項目について、「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答した者の割合は、いずれの世代でも男性の方が高い。
- ・また、こうした発言を言われたり聞いたりした経験のある人数の割合は、直接・間接を問わず、男性より女性のほうが高い。特にメディアで見たり聞いたりしたことがあると回答した者の割合は、男女ともに約15%となっている。こうした経験が女子学生の進路選択に影響を与えていることも考えられる。



※【直接】直接言われたり聞いたりしたことがある
【間接】直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある
【メディア】メディアで見たことがある

※出所：内閣府男女共同参画局
令和4年度性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究

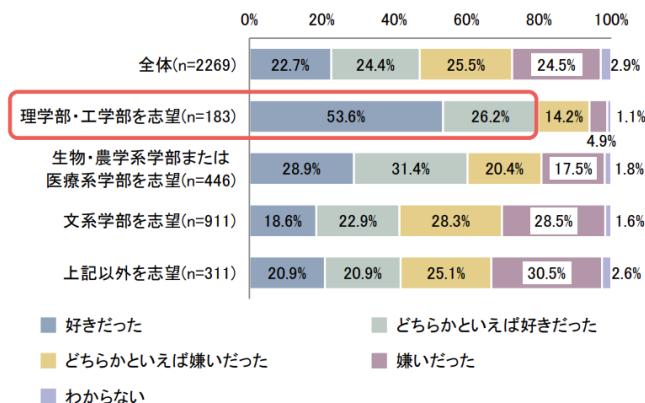
女性の理工系分野への進路選択に影響を与える要因について①

～「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」より～

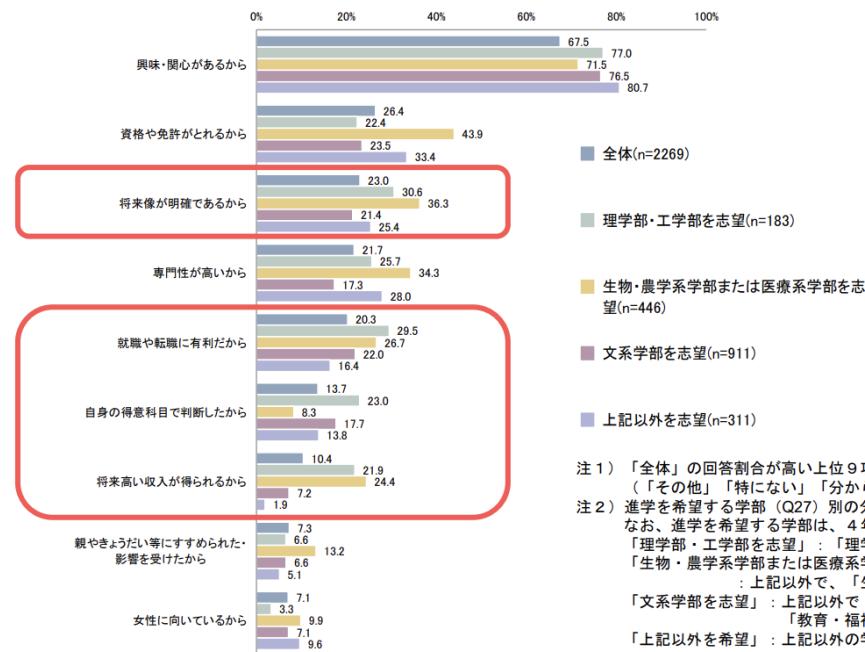
【調査結果】

- ・**女性の理工学部志望者は、数学や物理が好きで、理数系の成績も上位者が多い。**
- ・進路選択の理由として、将来像が明確であるから、就職・転職に有利だから、将来高い収入が得られるからなど、道具的動機付け（理科の学習が将来の職業に役立つという信念）が高い。

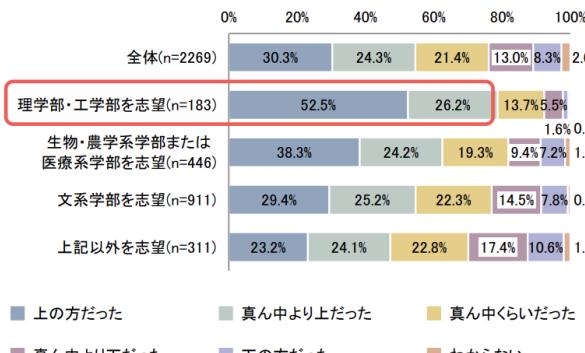
■ 希望する学部別 中学校の頃に「数学」が好きだったか（女性）



■ 希望する学部別 進路希望の理由（女性）



■ 希望する学部別 中学校の頃の「数学」の成績（女性）



※出所：内閣府男女共同参画局

令和3年度「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」

注1) 「全体」の回答割合が高い上位9項目を表示している。
(「その他」「特にない」「分からない」は非掲載)

注2) 進学を希望する学部(Q27)別の分析カテゴリは、以下のとおり作成した。
なお、進学を希望する学部は、4年制大学の学部に限定していない。
「理学部・工学部を志望」：「理学部」または「工学部」を選んだ者
「生物・農学系学部または医療系学部を志望」
：上記以外で、「生物・農学系学部」「医療系学部」を選んだ者
「文系学部を志望」：上記以外で「法文経学部」「外国語学部・国際関係学部」「教育・福祉学部」を選んだ者
「上記以外を希望」：上記以外の学部を選んだ者

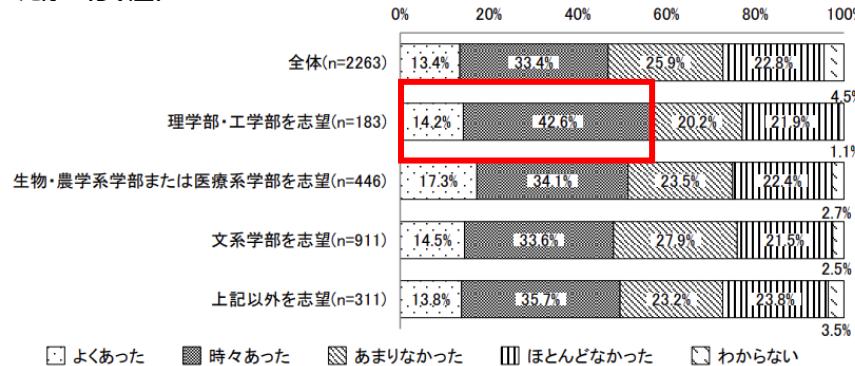
女性の理工系分野への進路選択に影響を与える要因について②

～「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」より～

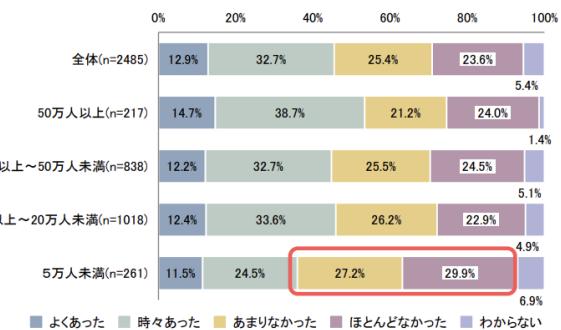
【調査結果】

- ・**女性の理工系分野志望者は、幼少期の科学館・博物館体験や大学や自治体のイベント等の理系的経験が多い。理工系分野に興味を持つきっかけとして、理系的経験が寄与している可能性がうかがえる。**
- ・人口規模別にみると、幼少期の科学館・博物館体験や、大学や自治体などが主催するイベント等への参加経験は「5万人未満」で少なくなっており、小規模自治体においては理工系に対する興味を深める機会が不足していることがうかがえる。

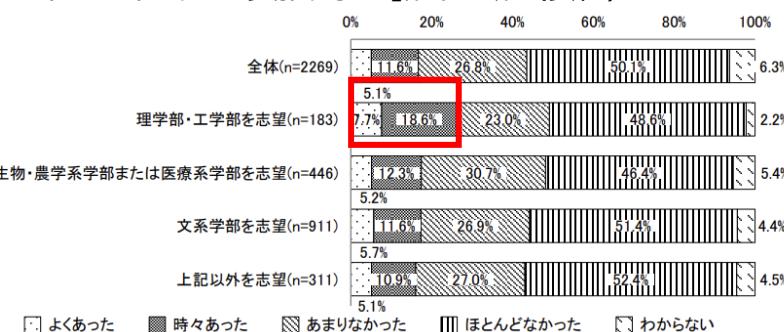
■志望分野別「保護者に、科学館や博物館に連れていくってもらうこと」があつたか（女性）



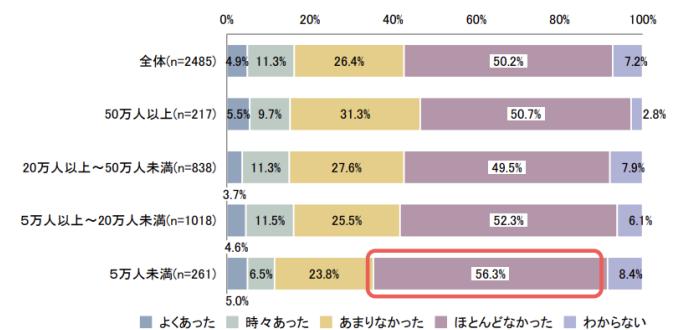
■人口規模別「保護者に、科学館や博物館に連れていくってもらうこと」があつたか（女性）



■志望分野別「大学や自治体などが主催する、理工系進学に関するイベント・シンポジウムに参加すること」があつたか（女性）



■人口規模別「大学や自治体などが主催する、理工系進学に関するイベント・シンポジウムに参加すること」があつたか（女性）



※出所：内閣府男女共同参画局

令和3年度「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」

文部科学省における主な施策

① 理工系に進む女子生徒・女子学生に関する取組

○ 女子中高生の理系進路選択支援プログラムに取り組む大学等への支援

- ・科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生などと女子中高生との交流機会の提供
- ・保護者向けのシンポジウム、出前授業や企業見学等

○ 大学における入学者の多様性確保に向けた選抜

○ 意欲ある大学・高専によるデジタル・グリーン等の成長分野への学部転換等の改革への支援

② 女性研究者への支援

○ ダイバーシティ実現に取り組む大学等への支援

- ・男女双方に対する研究と出産・育児、介護等との両立支援
- ・女性研究者の研究力向上及びリーダー経験の機会の付与
- ・博士後期課程へ進学する女子学生への支援の充実 等

○ 男女の研究者・技術者が共に働き続けやすい研究環境の整備

③ 教育分野におけるアンコンシャス・バイアスの解消

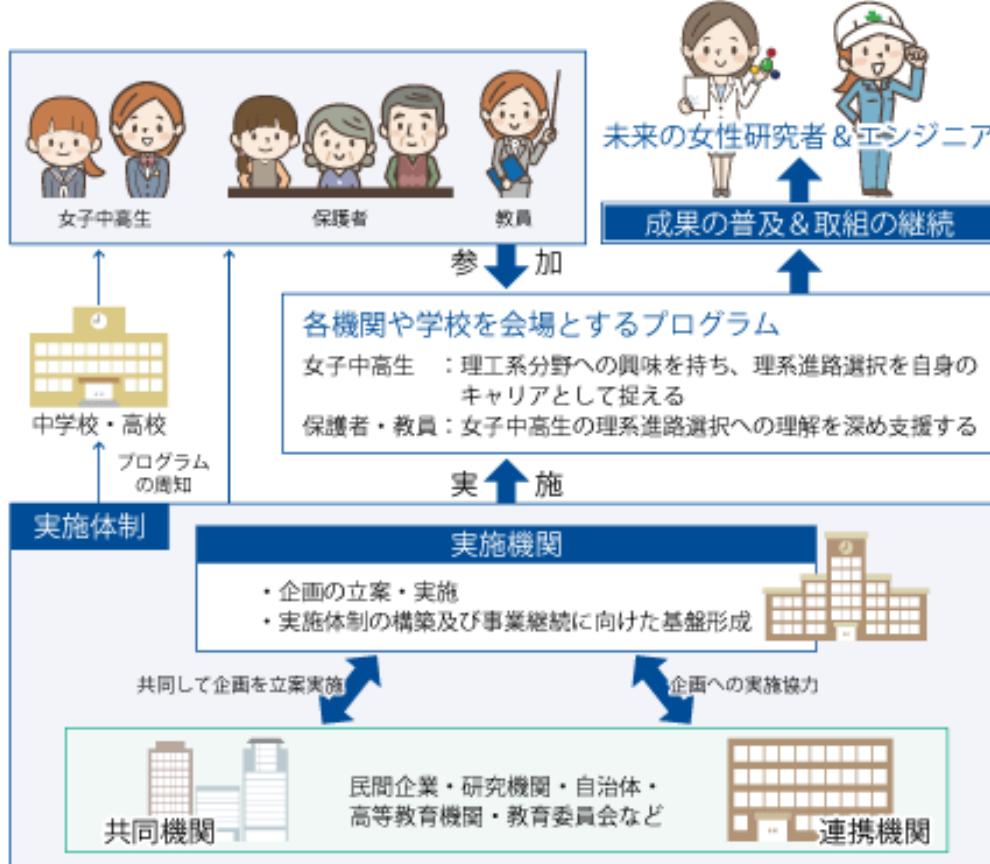
○ 研修・教育プログラムの作成

事業の目的・目標

- 女子中高生の理工系分野に対する興味・関心を高め、更に意欲・能力を伸長させる機会を提供することで、理工系分野への進学を促進するため、科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生などと女子中高生との交流機会の提供や、シンポジウムや出前授業などの取組に加え、地域や企業等と連携した取組などを実施する大学等を支援する。

支援の概要

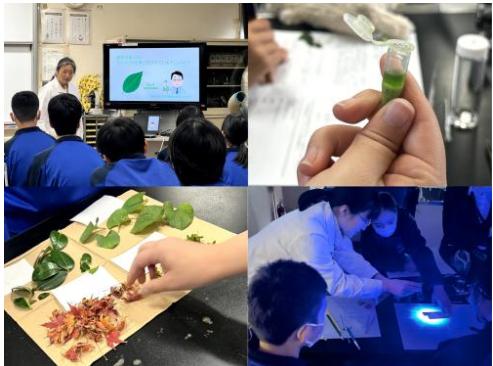
- 採択期間：3年間
- 実施規模：10拠点程度の大学・高専等
を含めた連携機関等
(うち令和8年度新規：2拠点程度)
- 支援額：年間300～600万円/機関
- 対象：女子中高生、保護者、教員等
- 内容：シンポジウム開催、実験、出前講座、
理系キャリア相談会等



理工系分野における多様な学びの機会の提供

1. 出前授業による実験体験

教科書の内容を超えた範囲を出前授業の形で実施。視野を広げ、理数分野への関心を広げるきっかけにする。



<大学の先生に教わりながら実験体験>

2. 企業見学・フィールドワーク

地元企業へのフィールドワークを実施。企業紹介、女性社員との交流などを行うことで進路選択の参考にする。



<発電所見学（フィールドワーク）>

理系女性のロールモデルの周知



<ロールモデル講演会>



<ロールモデル集>

保護者・教員へのアプローチ

1. 保護者・教員向けへの理系進路選択支援イベント・ワークショップ

女子生徒の理系への進路選択支援を後押しする講演会を開催

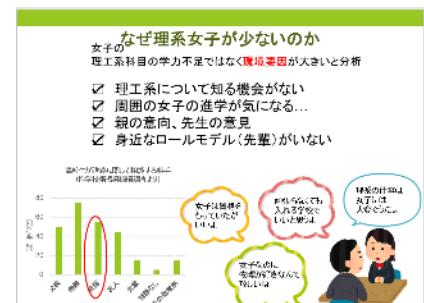


女子生徒のキャリア支援を考える保護者向けワークショップ・講演会の開催



2. 教員向けの情報提供

校長会等の既存の集会を活用し進路選択支援に関する理解を深める講演会を実施



入学者の多様性確保に向けた選抜について

■背景

- 多様な価値観が集まり新たな価値を創造するキャンパスを実現する観点から、各大学の創意工夫の一方策として、アドミッション・ポリシーに基づき、各大学が**キャンパスに多様性をもたらすことができる者を対象とする選抜を実施することも有効**
- **そうした選抜が実施できることを明確にするため、入学者選抜の基本方針である「大学入学者選抜実施要項」の入試方法に、令和5年度より「多様な背景を持った者を対象とする選抜」を追加**

■令和8年度大学入学者選抜実施要項（令和7年6月3日付文部科学省高等教育局長通知）（抄）

第3 入試方法

1 (略)

2 上記1（1）から（3）の入試方法【**補記：一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜**】において、各大学の判断により、入学者の多様性を確保する観点から、入学定員の一部について、以下のような多様な入学者の選抜を工夫することが望ましい。

- (1) 高等学校の専門教育を主とする学科（以下「専門学科」という。）又は総合学科卒業生及び卒業見込み者
- (2) 帰国生徒（中国引揚者等生徒を含む。）又は社会人
- (3) **家庭環境、居住地域、国籍、性別等に関して多様な背景等を持った者**

家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因により進学機会の確保に困難があると認められる者その他各大学において入学者の多様性を確保する観点から対象になると考える者（例えば、理工系分野における女子等）について、**入学志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視した評価・判定を行うことが望ましい。**

その際には、こうした**選抜の趣旨や方法について社会に対し合理的な説明を行うこと**や、入学志願者の**大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を適切に評価**すること。

【留意すべき点】 入学者の多様性確保に向けた選抜について

■属性により取扱いの差異を設ける場合に留意すべき点

前提

合理的な理由なく、性別、年齢、現役・既卒の別、出身地域、居住地域等の属性を理由として一律に取扱いの差異を設けることは公平性・公正性を欠く不適切な入試である。

(最低限求められる要素)

① 選抜趣旨や方法について、合理的な説明ができること

➢ 入学志願者の属性が要因となり、進学機会の確保に困難があることを理由として実施する場合

当該選抜を実施することにより、社会的障壁の除去の一助となることが合理的に説明できる必要がある。

➢ 入学者の多様性を確保するために実施する場合

当該枠の設定を検討する分野（学科等）ごとに、例えば以下の観点について、合理的に説明できる必要がある。

（1）当該枠を導入する背景

（観点の例）当該分野において、特定の属性の入学者が過少であるとする理由や背景をどのように分析しているか。

（2）当該枠により養成する人材（入学する者に期待する人材像）

（観点の例）当該特定の属性の受験者が、特にどのような資質・能力を入学後に発揮してほしいと期待しているのか。

（3）選抜方法

（観点の例）現行の選抜方法や評価尺度からどのような違いを持たせながら、どのような評価尺度（小論文、面接、活動報告書など）により評価するのか。

また、それらが（2）の能力等を適切に評価できるものとなっているのか。

② 選抜区分（枠）を分けて実施すること

同一選抜区分においては、公平な条件での実施が不可欠であるため、特定の属性により取扱いの差異を設ける場合は、原則として選抜区分（枠）を分けて実施する必要がある。

【参考】理工系の女子を対象とする選抜を実施する国公立大学（令和8年度入学者選抜）

【38大学 49学部（国立：34大学 44学部、公立：4大学 5学部）】

※青塗：令和8年度入学者選抜より実施するもの【8大学・12学部】

	大学	設置主体	学部等	入試方法	募集人員
1	室蘭工業大学	国立	理工	総合型	15
2	北見工業大学	国立	工	総合型	18
3	岩手大学	国立	理工	総合型	6
4	山形大学	国立	工（フレックスコース）	総合型	3
5	福島大学	国立	理工学群	総合型	8
6	東京科学大学	国立	理学院	総合型	15
			工学院	総合型	70
			物質理工学院	総合型	25
			情報理工学院	総合型	20
			環境・社会理工学院	総合型	9
			生命理工学院	学校推薦型	15
7	金沢大学	国立	理工学域	総合型	44
8	福井大学	国立	工	総合型／学校推薦型	15／10
9	滋賀大学	国立	データサイエンス	総合型	20
10	京都大学	国立	理	総合型	15
			工	学校推薦型	24
11	広島大学	国立	理	総合型	7
			工	総合型	15
			情報科	学校推薦型	15
12	香川大学	国立	創造工	総合型	3
13	愛媛大学	国立	工	総合型	13
14	佐賀大学	国立	理工	総合型／学校推薦型	12／3
15	琉球大学	国立	工	総合型／学校推薦型	10／10
16	秋田大学	国立	総合環境理工	学校推薦型	15
17	茨城大学	国立	工	学校推薦型	15
18	埼玉大学	国立	工	学校推薦型	20

	大学	設置主体	学部等	入試方法	募集人員
19	千葉大学	国立	情報・データサイエンス	学校推薦型	15
20	電気通信大学	国立	情報理工学域	学校推薦型	5
21	新潟大学	国立	工	学校推薦型	25
22	富山大学	国立	工	学校推薦型	13
23	山梨大学	国立	工	学校推薦型	14
24	名古屋大学	国立	工	学校推薦型	29
25	名古屋工業大学	国立	工	学校推薦型	28
26	三重大学	国立	工	学校推薦型	8
27	大阪大学	国立	基礎工	学校推薦型	20
28	神戸大学	国立	システム情報	学校推薦型	15
29	和歌山大学	国立	システム工	学校推薦型	10
30	島根大学	国立	総合理工	学校推薦型	20
			材料エネルギー	学校推薦型	6
31	長崎大学	国立	情報データ科	学校推薦型	10
			工	学校推薦型	12
32	熊本大学	国立	情報融合学環	学校推薦型	8
33	大分大学	国立	理工	学校推薦型	14
34	宮崎大学	国立	工	学校推薦型	14
35	公立小松大学	公立	生産システム科	学校推薦型	5
36	兵庫県立大学	公立	工	学校推薦型	17
37	山陽小野田市立山口東京理科大学	公立			
			工	学校推薦型	11
38	高知工科大学	公立	データ＆イノベーション学群	学校推薦型	不明
			システム工学群	学校推薦型	不明

注：「令和8年度国公立大学入学者選抜の概要」及びウェブ上に公表されている各大学の募集要項等に記載された募集人員を基に作成。なお、高知工科大学の募集人員について、選抜要項上は「若干名」と記載あり。

教員向け研修 学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム

- 日常の教育活動や学校運営などを男女共同参画の視点から捉え直し、学校の管理職や教員自身の指導のヒントにつながる研修プログラムを作成
- 固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関わる11の**教育現場の身近な場面を示したケース動画を作成**しており、その一つとして**大学の専攻分野の選択**も取り上げている

主な対象	ケース(場面)			
小学校教員 【初期・中堅】	ケース1 教室の日常 (家庭科・掃除)	ケース2 学校行事(卒業式)	ケース3 小学校での キャリア教育	ケース4 ワーク・ライフ・ バランス
中学校・高校教員 【初期・中堅】	ケース5 教室の日常 (理科の実験)	ケース6 学校行事(体育祭)	ケース7 大学の 専攻分野の選択	
管理職／管理職候補 教育委員会教職員 【管理職・ミドルリーダー】	ケース8 教員の日常 (校務分掌)	ケース9 教員の日常 (校長会議)	ケース10 ミドルリーダー への声かけ	ケース11 男性教員の 育休取得

ケース動画 ナレーション抜粋

放課後、クラスの生徒と雑談している時、生徒は、進学する大学や専攻分野について迷っていることや、親の意見も気にしていることなどを話しました。

女子生徒「最近、工学部っておもしろそうと思っているんです。だけどうちの親は、文系のほうが成績がいいのだし、就職先も見つけやすいから文系に行ったほうがいいって言うんです。それに、女なんだから東京なんかに行かないで家から通える大学にしろとか、浪人もダメだとかいうんですよ。どう思います?」

女子生徒の発言や気持ちをどう思いますか。

女子生徒の親の発言や気持ちをどう思いますか。



児童生徒向け教材 学校と地域で育む男女共同参画の促進

- 小・中学生を対象に、男女の尊重や自分を大事にすることの理解、固定的な性別役割分担意識解消の理解を深める教材、指導の手引きを作成
- 保護者に対し、教育内容や男女共同参画の意義を説明するとともに、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み等について伝えるための保護者向け啓発資料も作成

らしさってなんだろう？

「男なんだから
○○しなさい」

「女なんだから
○○しなさい」

と周りの人から言われたことはありませんか？

人それぞれの性に対する意識や行動の違い、個性や能力を認め合って、自分らしく生きることができる社会を目指すことが大切です。

中学生向け教材

「学校と地域で育む男女共同参画」のご案内

教育内容の紹介と、ご家庭での取組のお願い

男女共同参画を進めることによって、すべての人の権利が尊重され、性別にかかわらず個人の個性と能力を發揮できる、多様性に富んだ社会を実現することができます。このたび、全国の中学校において、男女共同参画の促進に向けた教育を推進することになりました。

■ 保護者のみなさまへのお願い

- この資料では、教育の概要や、男女共同参画に関する情報を、図表を交えながらわかりやすく紹介しています。ぜひご家庭でご覧いただき、本教育や男女共同参画についてご理解いただけますよう、お願ひいたします。
- お子さんとの話し合いや、体験型学習もしてみてください。（詳細はP.4参照）

男女共同参画促進に向けた教育の概要

教育の経緯

- 令和2年に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」において、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定概念は、往々にして幼少の頃から長年にわたり形成されており、女性と男性のいずれにも存在すると指摘されています。
- こうした意識や偏見等の解消に向けて、各学校において、男女の個性の尊重や自他を大切にすることの理解、固定的な性別役割分担意識解消の理解を深めるための教材を作成しました。

教育の内容

- 男女の個性の尊重
- 男女共同参画の現状
- 固定的な性別役割分担意識の解消

教材は文部科学省のウェブサイトからダウンロード可能です。

コラム 「生命（いのち）の安全教育」のご紹介

望まない的な行為は、性的な暴力にあたります。性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為であり、その心身に長期にわたり重大な影響を及ぼすもので、性暴力の根絶は待ったなしの課題です。令和2年には政府が決定された「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえ、全国の学校において「生命（いのち）の安全教育」を推進することになりました。この教育では、生命の尊さを学び、性暴力の根柢にある誤った認識や行動、性暴力が及ぼす影響を正しく理解し、生命を大切にする考え方、自分や相手、一人一人を大切にする態度等を身に付けることを目指しています。教材は文部科学省のウェブサイトからダウンロードできます。https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html

身近なところにも男女共同参画が関わっています

男女共同参画に関するキーワード

■ ジェンダー

「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には、生まれついての生物学的性別（sex（セックス））があります。一方、社会概念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があります。このような男性・女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（gender（ジェンダー））と言います。

■ 無意識の思い込み

（アンコンシャス・バイアス）誰も潜意識的に思ひ込みを持っています。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうちに脳にしきこみ、既成概念、固定概念となっています。

■ 固定的な性別役割分担意識

男女が問わず個人の能力によって役割を決めることが妥当であるかも知らず、「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等のように、男性・女性という性別を理由として、役割を固定的に分ける考え方があります。

例えば 男／女なんだから○○しなさい
男／女は○○してはいけない

と言われたことや、言ったことはありますか？

○○は男／女の役割だ
○○は男／女がするべきことではない

と言われたり、思ったことはありますか？

データから分かる男女共同参画① 家事・育児に関する協力は進んでいるのか？

日本では、女性の就業率が上昇傾向にあります。1970年以降は、共働き世帯数が男性雇用者と無業の妻からなる世帯数を上回り、特に2012年頃からその差は急速に拡大しています。一方で、女性の家事・育児関連時間は男性より長く、他国に比べても長くなっています。

6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間

年	夫の家事・育児時間	妻の家事・育児時間
1970	7:34	5:48
1980	6:09	6:59
1990	5:49	6:11
2000	5:29	5:49
2010	5:26	5:26
2012	5:13	5:27
2014	5:09	5:24
2016	5:00	5:22
2018	4:49	5:00
2020	4:35	5:07

※ 平成22年及び23年の値は、若手高、宮城県及び福島県を除く全国の結果。
※ 運営主体平均、1日当たり。

出典) 内閣府「男女共同参画白書（令和2年版）」に基づき作成 https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/03_zentai/_html/honpen/b1_03_01.html

保護者向け啓発資料

【参考資料】 内閣府の取組

理工チャレンジ（リコチャレ！）～女子生徒等の理工系への進路選択を促進～ 取組概要



リコチャレは、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援するため、平成17年（2005年）より内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。

取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和7年度実績 129団体235イベント実施
約8,300名が参加

リコチャレ応援団体

- ・理工チャレンジの趣旨に賛同する大学、企業、学術団体等 952団体
(令和7年8月31日現在)

ウェブサイト 「理工チャレンジ」

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



理工系女子応援 ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

理工系女子 応援ネットワーク

- ・リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体 232団体
(令和7年8月31日現在)

シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性（ロールモデル）提示等

STEM Girls Ambassadors による理工系女性人材育成

- ・STEM Girls Ambassadorsを派遣し、全国各地で講演等を開催

若手理工系人材 (ロールモデル) による出前授業

- ・人口5万人未満の市区町村の自治体や学校へ、企業・大学等の理工系人材を派遣

調査研究

- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択支援を目的とした各種支援策の調査研究、事例集作成
- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択を阻害するアンコンシャス・バイアスの払拭を目的とする研修用動画制作

ウェブサイト 「理工チャレンジ」

【事業概要】

リコチャレ応援団体（※）の紹介、イベント等の掲載。

そのほか、先輩理工系女性からのメッセージを掲載するとともに、質問も可能。

※リコチャレ応援団体：952団体（うち、具体的な支援を行っている理工系女子応援ネットワーク団体：232団体）

応援団体数内訳（行政機関：58団体、企業：322団体、学術・研究機関等：143団体、大学等：375団体、その他：54団体）

（令和7年8月31日現在）

The homepage features a large banner for 'RIKOCHALLENGE SUMMER OF 2025 夏のリコチャレ2025' with illustrations of students. Below it is a section for 'Event Information' and 'Overview'. A sidebar on the right lists various support groups.

This page provides an overview of the organization, mentioning its mission to promote engineering fields for girls. It includes a photo of the company headquarters and links to other sections.

This section features a message from a senior named 酒井 希実さん, who shares her experience in the industry. It also includes a photo of her wearing a hard hat.

This section shows the reasons why a student chose the engineering field, with a quote from 酒井 希実さん. It also includes a photo of her.

This section highlights the魅力 of current work/research, featuring a quote from a senior and a photo of her.

This section contains a message from a senior to junior students, encouraging them to pursue their dreams in engineering. It includes a photo of the senior.

日	月	火	水	木	金	土
6月のイベント情報						
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

日	月	火	水	木	金	土
2025年8月						
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6
9月以降のイベント情報						

This section provides information about the department, including its name and contact details. It also includes a photo of a student and a message from a senior.

進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2025 動画公開セミナー（シンポジウム）

【事業概要】

- ・女子中高生、保護者、教員等を対象に、内閣府・文部科学省・JST・経産省の共催にて開催
- ・令和7年7月7日公開

進路で人生どう変わる？

理系で広がる私の未来2025 動画公開セミナー



基調講演

田中 純子

広島大学 理事・副学長 特任教授

プロフィール

お茶の水女子大学理学部卒、医学博士（広島大学）。専門は疫学、特にウイルス肝炎の疫学。2009年広島大学大学院教授等を経て現職。ウイルス肝炎の疫学研究を国内外で実施し、医療施策へ貢献。中国文化賞（中国新聞社）、ロイヤル・モニサラポン勲章（カンボジア王国）、Elimination Champions 2023（Task Force for Global Health, CGHE）等受賞

理系で広がる
私の未来
2025



講演

村上 慧

関西学院大学 理学部化学科 准教授

プロフィール

2012年京都大学大学院工学研究科材料化学専攻博士後期課程修了
博士（工学）の学位を授与
2012年 日本学術振興会 特別研究员（PD）
2013年 京都大学白眉センター 特定助教
2014年 名古屋大学物質科学国際研究センター 助教
2016年 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授
2020年より現職

理系で広がる
私の未来
2025



理系で活躍する先輩による経験談発表

竹下 未来

パナソニック ホールディングス株式会社
M I 本部 先進メカトロニクスシステム開発センター
先進メカトロニクス開発一部 制御開発課 シニアエンジニア

プロフィール

福岡県出身。高専卒業後、九州工業大学情報工学部へ編入し、2021年に同大学大学院で博士前期課程を修了。学生時代は身体の状態を測定するセンサを3Dプリンターでつくる研究を取り組む。大学院修了後は、「ものをつくるための機械」を設計する仕事をしたい、という思いからパナソニック ホールディングス株式会社に入社。現在は、次世代半導体や再生医療向けの装置開発を担当。

理系で広がる
私の未来
2025



永塚 尚子

海洋研究開発機構 地球環境部門
地球表層システム研究センター 副主任研究員

プロフィール

雪氷学・地球化学の研究者。千葉大学理学部地球科学科で初めて氷河に出会い、その魅力に惹かれて、同大学院理学研究科（現・融合理工学府）の修士課程および博士課程への進学を決意。2013年に学位を得て後、国立極地研究所の研究員を経て、2024年より海洋研究開発機構の副主任研究員。
これまで、アラスカやグリーンランドをはじめとする世界各地の氷河で調査を行い、ミクロなサイズの鉱物から、地球規模の気候・環境変動を解明することに取り組んでいます。

理系で広がる
私の未来
2025



北村 由羽

日東電工株式会社 全社技術部門 研究開発本部
分離技術研究センター 研究員

プロフィール

2018年3月 関西学院大学 工学部 化学科 卒業
2020年3月 関西学院大学 工学研究科 化学専攻 修士課程 卒業
2023年3月 関西学院大学 工学研究科 化学専攻 博士課程 卒業
2023年4月 日東電工株式会社 新卒入社
　　茨木事業所のR&D部門に配属
現在入社3年目であり、環境貢献テーマに従事

理系で広がる
私の未来
2025



山下

合志技研工業株式会社
合志製造部 機種計画課 試作係

プロフィール

合志技研は、バイクの排気系部品（マフラー・エキパイ）と、フレームをメインに製作している会社です。私はモノづくりが好きで、かつ、バイクも好きなのでこの会社に入社することを決めました。入社して2年間は、開発段階（発売前）の排気系部品を溶接して試作する業務に携わり、現在は、試作した製品を測定し検査を行う業務に携わっています。
学生時代に得た、図面を読む、描く力、工作機械の技術、溶接の経験をフル活用して仕事をしています。

理系で広がる
私の未来
2025



STEM Girls Ambassadors派遣

【事業概要】

女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。ロールモデルの提示策を強化すべく、令和4年度に、メッセージ動画を男女共同参画局公式YouTubeにて公開。

【主な活動】

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上のメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動

Ambassador一覧（令和7年3月31日時点） ※敬称略・五十音順	
阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル執行役員兼インド現地法人代表取締役会長
杉本 雛乃	経済産業省
ズナイデン房子	日本マクドナルド株式会社 取締役上席執行役員 CMO
田中 純子	広島大学理事・副学長/ 大学院医系科学研究科特任教授
玉城 絵美	H2L,Inc.CEO、琉球大学工学部教授、東京大学大学院工学系研究科教授
中島 さち子	音楽家、数学研究者、株式会社steAm代表取締役
行木 陽子	中央大学 特任教授、NPO法人日本女性技術者フォーラム 理事長
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺 美代子	日本大学 常務理事、NPO法人ウッドデッキ 代表理事

STEM GIRLS
AMBASSADORS

理工系女子応援大使のご案内

※派遣費用は内閣府が負担します！

問合せ先 内閣府男女共同参画局推進課 理工チャレンジ事務局
03-6257-1181 g.riko-challe@cao.go.jp

STEM Girls Ambassadors 派遣申請フォームはこちら <https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0429.html>

令和6(2024)年度イベント数	
令和6(2024)年度イベント数	16イベント
令和5(2023)年度イベント数	
令和5(2023)年度イベント数	18イベント

令和6年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業

●事業の目的

人口5万人未満の市区町村を重点的に対策すべき地域と定め、若手理工系人材による出前授業を実施することで、女子生徒の理系的体験の機会の創出と、地域におけるロールモデルの掘り起こしを目的とする。

●事業概要

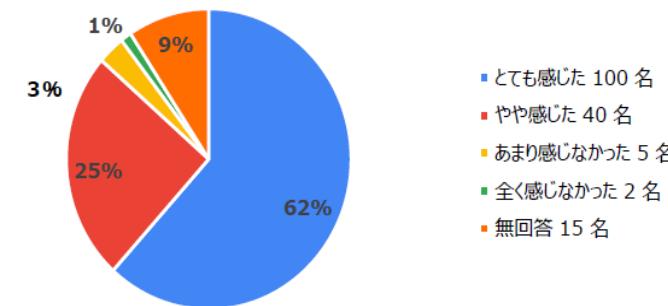
- 実施地域：5 地域（人口5万人未満の市区町村から選定）

実施地域	実施日
栃木県那須町	令和6年10月15日
長崎県雲仙市	令和6年11月2日
宮城県東松島市	令和6年11月16日
香川県小豆島町	令和6年12月18日
岡山県新見市	令和7年1月13日

- 参加対象：小・中・高校女子生徒（男子生徒も可）、保護者・教員・地域住民等
- 参加者数：50名程度（地域の教育委員会や学校と連携して募集）
- ロールモデル：理工系分野への従事期間が10年以内の若手女性人材（1地域3名）
(当該地域の地元企業・大学・研究機関等で活躍する理工系人材等)
- プログラム：ロールモデルの講演や専門分野に応じた実験等の体験
(2~3 時間程度)
- 参加者アンケート：出前授業の満足度、理工系進路選択への興味関心度、理工系進路選択についてのメリット・デメリット等

●令和6年度開催実績（総括）

- 延べ参加者数：292名
(うち、児童・生徒：174名、保護者・教員等：118名)
- イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒等の割合：**87%**



【授業の様子】



男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり ～中学校を中心として～

【事業概要】

教員等の指導者の方々へ向けて、

○男女共同参画の視点の必要性

○無意識に持っていた固定概念・考え方や言動への気付き

<無意識に行っている言動>

・テストの点数の良かった女子生徒に、「女子なのに数学／理科ができる、すごいね」と言葉をかけている

・理科の実験授業において、操作は男子、記録は女子、という生徒間の役割分担が自然とできており、それに任せている

○男女共同参画に配慮した理数授業の事例

○教員のアドバイスをきっかけに理数系に進んだ女性の事例

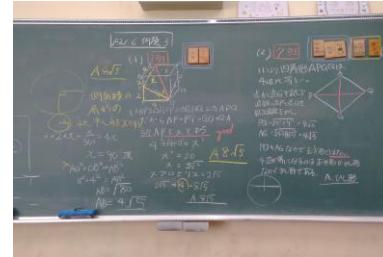
等から構成される、啓発資料「男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり～中学校を中心として～」を作成。



▲じゃんけんをしながら確率を計算する
様子



▲授業で生徒が作成したイルミネーションの一部



▲生徒が実際に行った板書発表の内容

➡ 文部科学省と連携して普及を図り、教員等の指導者の無意識の思い込み
(アンコンシャス・バイアス) の払しょくに取り組む。

※文部科学省から都道府県教育委員会に対し通知を発出し、文科省HPにリンクを掲載。

啓発資料

第3章：H丘のふるまいを振り返ろう

第3章の目的

この章では、教員が持っているアンコンシャス・バイアス（潜意識的でいると思われる）を自ら気づかず、男女共同参画の視点に配慮した授業の実現に向けたふるまいや最後の話し方についてどのように改めると良いかを明確にするための活動を紹介します。

なお、本書の第2章「自分をどう見立てて何を学習者として見ていくか」も、自己のバイアス(潜意識)の1つの方です。

■「教学者」を描いてみてくださいの解説

自分が書いた教学者の絵を、以下の観点で振り返ってみましょう。

人種	性別	教員・生徒
年齢	障害者 (どこにいるか)	行動 (何をしていくか)

□イギリスとアメリカの学校でこの活動を実施したところ、大多数の生徒が白人で、黒髪を抜け、足を歩かせている姿や、座る姿勢を示す男性が、 $1+1=2$ のよき革新を企てる意圖で書かれた教科書の前に立っている姿に注目しました。

□近年の研究によると、社会の男女平等意識などにも関わらず、女性を数学者として認識している人は男女とも非常に少ないといふことが報告されています。また数学や他のSTEM学習においても同様の問題経験が報告されています。これらの結果を踏まえれば、理工分野における女性のロールモデルを周知し、造詣に深手な女性として認められることで、数学やその他のSTEM学習者を激励に満ちた環境で一緒に学ぶことの大切さを改めて認識してもらいたいと考えています。

綴られていていかがでしたでしょうか？教学者やその他の新規者を認めた時に、生徒と一緒に見解してみるとまた気づきを得ることができますので、お試しください。

[キーワード] 男性教師/フェンダー・ステレオタイプ

指導者教育事例

2020年にオーストラリアのクイーンズランド州で公開された教員研修のなかに掲載されている活動の中から、本書では該学に含む以下の3つを紹介します。

いずれの活動も教科別に用意され、各教科教材等は必ずしも手帳式で実施し、教員が結果を分析する（分析が計画・分析することも可能である）

No.	活動概要	対象	活動概要
1	シニア・バイアスと 数学	教員	潜意識的に作成した生徒のプロファイルを見ながら、その生徒に対する態度を評議する
2	教員に対する態度	教員・生徒	生徒に向けたアートを実施し、教員が結果を分析する（分析が計画・分析することも可能である）
3	接吻の教學	教員	教員が自分の接吻を模倣し、男女とも接吻するかについて語り合う

出典: Hongay, H., & Leder, G. (2012). Mathematics Sustainability Materials: Ideas in the Teaching of Mathematics. State of Victoria Department of Education and Training, 2010.



▲男女別グループでの実験の様子

女子生徒の理工系進路選択を阻害する アンコンシャス・バイアスへの気付きを促す啓発動画

【事業概要】

- ・「女子は数学が得意ではない」等のアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が、女子生徒の理工系進路選択を阻害することがあります。
- ・そうしたアンコンシャス・バイアスへの気付きを促すこと目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- ・動画は、学校の授業や実験における教員の声掛け、家庭における保護者の反応など、4つの事例から構成されています。

★動画は下記より御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=j97LxeLB-TQ>



Case1



★数学で高得点を取った女子生徒に教員が掛けた言葉は・・・

Case2



★理科の実験で器具操作と記録の役割分担が指示されるが・・・

Case3



★ガスバーナーの扱いに慣れていない女子生徒への教員の配慮は・・・

Case4



★工学部の大学案内を見て楽しそうに話す女子生徒への母親の反応は・・・